

給食だより

令和4年6月9日
松戸市立東松戸小学校

関東地方は6月6日に梅雨入りしました。寒暖の差が激しく、毎朝何を着ようか迷います。体調を崩しやすい時期ですが、生活リズムを整えることで疲れが軽減し、気持ちよく1日のスタートを切ることができます。早寝早起きの習慣を身につけて、朝ごはんも忘れずに。

食中毒注意報が発令されました

千葉県では、食中毒の多発が予想される時期に、食中毒注意報又は食中毒警報(※)を発令して、注意喚起を促しています。気温と湿度が高く、食中毒菌が増えやすい時期ですので、東松戸小の給食室でも、手洗いや身支度、器具の取り扱いなどについていつも以上に衛生管理に気を付けて作業を行うよう、全員で確認したところです。

手洗いなどの衛生管理は、コロナウイルスの感染防止にも効果的ですので、ご家庭でもお気を付けください。

※食中毒注意報 → 6月1日～9月30日

- 食中毒警報 → ①真夏日が3日以上継続した場合
②健康福祉長が必要と認めた場合
(上記①②のどちらかに該当する時)

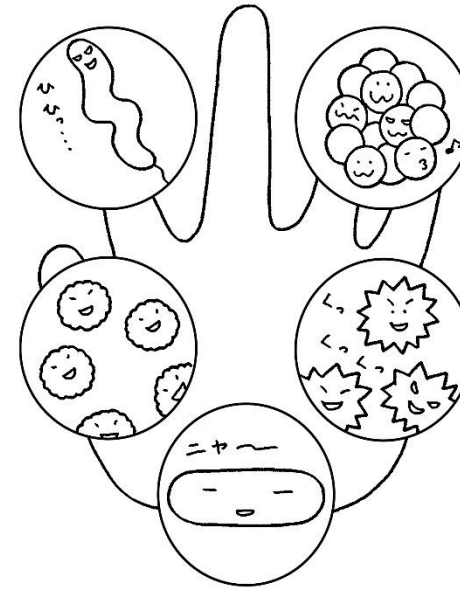
家族で徹底！ 食事前の手洗い

手に細菌やウイルスがついていると、手を介して食品や調理道具、食卓などに細菌やウイルスがつき、ほかの人へ広がってしまいます。感染を予防するためにも、家族みんなで食事前の手洗いを徹底しましょう。



---- 菌もウイルスも目には見えない ----

細菌やウイルスは目に見えません。そのため、知らないうちに食品や調理道具に細菌などがついてしまいます。感染予防のためには、しっかり手を洗うことが大切です。食中毒には細菌性やウイルス性、自然毒などがあります。細菌性は夏に多く、カンピロバクターや腸管出血性大腸菌などが原因菌の上位です。ウイルス性は冬に多く、ノロウイルスなどが原因としてあげられます。



カンピロ
バクター

にわとりや牛などが持っている細菌。食後2～5日で腹痛や下痢、おう吐などの症状を起こします。

腸管出血性
大腸菌

牛などの便中から見つかる細菌。食後3～5日で激しい腹痛や下痢などの症状を起こします。

ノロ
ウイルス

かきなどの二枚貝などにいるウイルス。食後1～2日でおう吐や下痢などの症状を起こします。

給食時間の基本的な対応および考え方について

6月1日付で松戸市教育委員会から「今後の教育活動における感染症防止対応(主にマスクに関する事項)」について」という文書が学校宛、保護者宛に配布されました。給食については、「①対面での食事は座席配置を工夫する」「②会話をする時はマスクを着用する」「③食事中の会話は控える」の3点の記載がありました。

本校では、児童数に対しての教室の面積を考えると座席配置の工夫が難しいこと、対面での食事を実施した場合、子ども同士で会話をしてしまう恐れがあることなどから、当面は、給食時間中は前を向き、会話を控える対応を続けます。

コロナウイルス感染拡大が1日も早く収束し、楽しい会食ができるよう、今は安全策を取りたいと考えております。